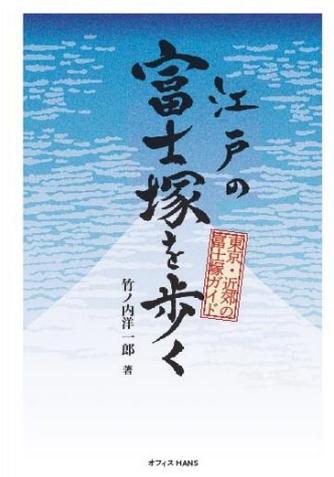


# 江戸の富士塚を歩く — 東京・近郊の富士塚ガイド

竹ノ内洋一郎／著

四六判並製 174 ページ カラー 定価 1,650 円(本体 1,500 円 + 税)



富士山は、古くから霊山として崇められてきました。とくに江戸時代は庶民の間で富士山信仰(浅間信仰)が盛んになり、霊峰を望める各地の信者たちは富士講をつくり、実際に富士登拝をしたり町内にシンボルの富士塚をつくってお参りをしました。本書は、東京と近郊に今も残る貴重な富士塚 74 か所を巡り、その由来や歴史、そして現在をカラー写真で紹介するユニークなガイドブックです。

所在地マップと最寄り駅からのおおよその徒歩時間も掲載しました。

## 目次

### 第 1 章 富士塚と江戸の民間信仰

富士山が世界遺産に／富士講の誕生と先駆者たち／(1)富士信仰の開祖、長谷川角行／(2)角行の最終後継者、村上光清と食行身禄／富士講の組織と富士山登拝／(1)富士講の組織と構成／(2)富士山登拝と御師の誕生／富士塚の築造と現在／(1)富士塚の築造／(2)富士塚の基本概念と構成要素／(3)現在の富士塚

### 第 2 章 東京・近郊の富士塚ガイド(所在地は郵便番号順)

(東京都 23 区)神田柳森富士・鉄砲洲富士・下谷坂本富士・白山富士・音羽富士・駒込富士・身禄富士・田端富士・十条富士・綾瀬富士・五反野富士・柳原富士・大川富士・花又富士・伊興町富士・保木間富士・島根富士・西新井富士・今井富士・下鎌田富士・浮洲浅間神社富士塚・平井富士・逆井富士・上篠崎富士・上鎌田富士・長島富士・桑川富士・中割富士・小島八幡神社富士塚・深川八幡富士・砂町富士・品川富士・居木富士・羽田富士・多摩川富士・千駄ヶ谷富士・目黒元富士・目黒新富士・松原富士・西大久保富士・新宿富士・東大久保富士・成子富士・上落合富士・高田富士・長崎富士・江古田富士・(東京都下)境富士・浅間神社・久米川富士塚・立川浅間神社富士塚・金毘羅山の富士・八王子富士・木曾富士塚・中里富士(埼玉県)木曾呂富士・瀬崎富士・西宝珠花富士・仙波浅間神社の富士塚・白子富士・下新倉富士・田子山富士・羽根倉富士嶽・荒幡富士(千葉県)稲毛浅間神社・流山富士・松戸富士・堀江富士(神奈川県)北加瀬浅間神社・登戸富士・川和富士・鶴見富士・つきみ野の富士塚(静岡県)鈴川の富士塚／富士塚マップ

はじめに …… 1

## 第1章 富士塚と江戸の民間信仰 5

富士山が世界遺産に …… 6

富士講の誕生と先駆者たち …… 7

(1) 富士信仰の開祖、長谷川角行 …… 7 (2) 角行の最終後継者、村上光清と食身身禄 …… 9

富士講の組織と富士山登拝 …… 11

(1) 富士講の組織と構成 …… 11 (2) 富士山登拝と御師の誕生 …… 12

富士塚の築造と現在 …… 14

(1) 富士塚の築造 …… 14 (2) 富士塚の基本概念と構成要素 …… 15 (3) 現在の富士塚 …… 17

## 第2章 東京・近郊の富士塚ガイド 21

### 東京都23区

① 神田柳森富士(柳森神社)(千代田区) …… 22

② 鉄砲洲富士(鉄砲洲稻荷神社)(中央区) …… 24

③ 下谷坂本富士(小野照崎神社)(台東区) …… 26

④ 白山富士(白山神社)(文京区) …… 28

⑤ 音羽富士(護国寺)(文京区) …… 30

⑥ 駒込富士(富士神社)(文京区) …… 32

⑦ 身禄富士(海蔵寺)(文京区) …… 34

⑧ 田端富士(田端八幡神社)(北区) …… 36

⑨ 十条富士(十条富士神社)(北区) …… 38

⑩ 綾瀬富士(綾瀬稻荷神社)(足立区) …… 40

⑪ 五反野富士(西之宮稻荷神社)(足立区) …… 42

⑫ 柳原富士(柳原稻荷神社)(足立区) …… 44

⑬ 大川富士(大川町氷川神社)(足立区) …… 46

⑭ 花又富士(花畑浅間神社)(足立区) …… 48

⑮ 伊興町富士(伊興氷川神社)(足立区) …… 50

⑯ 保木間富士(保木間氷川神社)(足立区) …… 52

⑰ 島根富士(鷲神社)(足立区) …… 54

⑱ 西新井富士(浅間神社)(足立区) …… 56

⑲ 今井富士(香取神社)(江戸川区) …… 58

⑳ 下鎌田富士(豊田神社)(江戸川区) …… 60

㉑ 浮洲浅間神社富士塚(白髭神社)(江戸川区) …… 62

㉒ 平井富士(諏訪神社)(江戸川区) …… 64

㉓ 逆井富士(白髭神社境外持社)(江戸川区) …… 66

㉔ 上篠崎富士(浅間神社)(江戸川区) …… 68

㉕ 上鎌田富士(天祖神社)(江戸川区) …… 70

㉖ 長島富士(香取神社)(江戸川区) …… 72

㉗ 桑川富士(桑川神社)(江戸川区) …… 74

㉘ 中割富士(天祖神社)(江戸川区) …… 76

㉙ 小島八幡神社富士塚(小島八幡神社)(江戸川区) …… 78

㉚ 深川八幡富士(富岡八幡宮)(江東区) …… 80

㉛ 砂町富士(富賀岡八幡宮)(江東区) …… 82

㉜ 品川富士(品川神社)(品川区) …… 84

㉝ 居木富士(居木神社)(品川区) …… 86

㉞ 羽田富士(羽田神社)(大田区) …… 88

㉟ 多摩川富士(多摩川浅間神社)(大田区) …… 90

㊱ 千駄ヶ谷富士(鳩森八幡神社)(渋谷区) …… 92

㊲ 目黒元富士(上目黒氷川神社)(目黒区) …… 94

㊳ 目黒新富士(別所坂上)(目黒区) …… 96

㊴ 松原富士(神道扶桑教富士山太祠)(世田谷区) …… 98

㊵ 西大久保富士(稻荷鬼王神社)(新宿区) …… 100

㊶ 新宿富士(花園神社)(新宿区) …… 102

㊷ 東大久保富士(西向天神社)(新宿区) …… 104

㊸ 成子富士(成子天神社)(新宿区) …… 106

㊹ 上落合富士(月見岡八幡神社)(新宿区) …… 108

㊺ 高田富士(水稻荷神社)(新宿区) …… 110

㊻ 長崎富士(浅間神社)(豊島区) …… 112

㊼ 江古田富士(浅間神社)(練馬区) …… 114

### 東京都下

㊽ 境富士(杵築大社)(武蔵野市) …… 116

㊾ 浅間神社(浅間山公園)(府中市) …… 118

㊿ 久米川富士(久米川熊野神社)(東村山市) …… 120

① 立川浅間神社富士塚(富士塚公園)(立川市) …… 122

② 金毘羅山の富士(玉川上水・金毘羅橋南)(立川市) …… 124

③ 八王子富士(富士森公園浅間神社)(八王子市) …… 126

④ 木曾富士塚(町田街道木曾交差点東)(町田市) …… 128

55 中里富士(中里富士山神社)(清瀬市) …… 130

#### 埼玉県

56 木曾呂富士(浅間神社)(川口市) …… 132

57 瀬崎富士(瀬崎浅間神社)(草加市) …… 134

58 西宝珠花富士(宝珠花神社)(春日部市) …… 136

59 仙波浅間神社の富士塚(仙波浅間神社)(川越市) …… 138

60 白子富士(熊野神社)(和光市) …… 140

61 下新倉富士(下新倉水川八幡神社)(和光市) …… 142

62 田子山富士(敷島神社)(志木市) …… 144

63 羽根倉富士嶽(羽根倉浅間神社)(志木市) …… 146

64 荒幡富士(浅間神社)(所沢市) …… 148

#### 千葉県

65 稲毛浅間神社(稲毛浅間神社)(千葉市) …… 150

66 流山富士(流山浅間神社)(流山市) …… 152

67 松戸富士(松戸神社)(松戸市) …… 154

68 堀江富士(清瀧神社)(浦安市) …… 156

#### 神奈川県

69 北加瀬浅間神社(加瀬台古墳群)(川崎市) …… 158

70 登戸富士(登戸浅間社)(川崎市) …… 160

71 川和富士(川和富士公園)(横浜市) …… 162

72 鶴見富士(鶴見神社)(横浜市) …… 164

73 つきみ野の富士塚(公所浅間神社)(大和市) …… 166

#### 静岡県

74 鈴川の富士塚(富士市) …… 168

富士塚マップ …… 170

おわりに …… 172

奥付 …… 173

参考文献 …… 174

写真・図版提供(50音順, カッコ内は掲載ページ)

足立区立郷土博物館(94, 96)

神奈川県立歴史博物館(6, 7, 13)

北区飛鳥山博物館(38, 39)

江東区教育委員会(81)

国立国会図書館(110)

品川区立品川歴史館(14)

富士山かぐや姫ミュージアム(169)

題字／あおのよしこ

表紙デザイン・本文レイアウト／大谷孝久

## 第1章

# 富士塚と 江戸の民間信仰

# 千駄ヶ谷富士

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-1-24

鳩森八幡神社境内



“江戸七富士”の1つである千駄ヶ谷富士全景。優雅でどっしりとしていて鋭角の黒ボクが要所に配置され、立体的な築造の工夫が印象的である。

JR 千駄ヶ谷駅を出て東京体育館、室内水泳場を左に見ながら進む。江戸時代、この一帯は紀州藩の下屋敷で、その先の五差路に「鳩森八幡神社」の鳥居が建つ。社伝によると創建は860(貞観2)年、御祭神は「応神天皇」「神功皇后」で、社殿は1993(平成5)年に総擧造りで復元された。境内には戦災で唯一残る大銀杏、「享保二十年」(1735)の狛犬、富士塚が総鎮守の佇まいを見せている。

高さ約6m、直径約25mの「千駄ヶ谷富士」は、説明によると1789(寛政1)年の築造とあるが、他に里宮左の手水鉢にある「享保十六年講中」、池の石灯籠の「享保十九年奉納御寶前寅九月南紀講中」などの奉納物から享保年間(1716～1736)説、さらに「鳩森八幡縁起」にある天正年間(1573～1591)築造説などいくつかある。

黒ボクは登山口と五合目から上に集中し、山頂付近は際立っている。塚前の池は土を採掘した跡を利用、円墳状の盛り土と前方の池は江戸期富士塚の基本様式を示している。当時の庭師たちは富士講の名誉をかけて競い、誰もが登りたいと思うよう願って設計したのか、いつ来ても登拝者が絶えない。また、築造当時に良く留め都内に現存する富士塚では最古で、1976(昭和51)年に渋谷区指定文化財、1981(昭和56)年に東京都有形民俗文化財に指定された。

案内図に従って時計回りに頂上を目指す。正面に「さんみょうとうかいさん 参明藤開山」、裏側に「昭和10年烏帽子岩総講社」富士講のお題目と講名が彫られている。さらに進むと二合目、「木花咲耶姫命」を祀る御影石の里宮、その右手に「丸嘉講同行」の石碑、「赤坂近江屋嘉右衛門(丸嘉講講祖)、桜田久保町、山城河岸、四谷中町、鮫ヶ橋、小石川、巢鴨本村、下町、中町、小豆沢、品川、神田、駒込」の講名が列記され、講どうしの連携がわかる。三合目、さらに亀岩を登ると五合目、「こみつけせきそんだいでんげん 小御嶽石尊大権現」の石碑があり、裏側は「寛政元巳酉年六月吉日願主當所中」と読める。

八合目の烏帽子岩傍の黒ボク岩屋には「食行身祿」像が鎮座、この付近は狭い登山道や凹凸の足元が登拝の雰囲気演出し、峻厳さを増す頂上は黒ボクの岩窟に白い奥宮が祀られ、他の富士塚にはあまり見られない「金明水」、「銀明水」、「釈迦の割れ石」など、富士山頂を再現した「お鉢巡り」\*の名所が配置されている。開山祭は毎年6月3日。



(JR総武線「千駄ヶ谷」徒歩5分、都営地下鉄大江戸線「国立競技場」徒歩5分、東京メトロ副都心線「北参道」徒歩5分)

裏面に「寛政元年」の刻銘がある小御嶽石尊大権現の石碑。当神社の富士講は「烏帽子岩講」で、昭和60年代まで続いていた。

# 富士塚マップ

